

令和元年度第3回「千歳市子ども・子育て会議」会議録

日 時	令和元年9月25日(水) 10時00分～11時30分	
会 場	市役所第2庁舎 会議室5・6	
出 席 者	委員 ※50音順	市(事務局)
	委員 吾田 富士子 委員 石岡 くに子 委員 板垣 愛 委員 大関 恵子 委員 大前 江津美 委員 小川 真智子 委員 兼平 尚子 委員 斉藤 創 委員 三溝 昌宏 委員 西 博康 委員 松澤 菜緒 委員 三浦 朋美 委員 村田 勢津子	こども福祉部長 上野 美晴 こども福祉部次長 島津 一久 こども政策課長 久保田 健司 こども政策係長 井鳥 秀司 こども政策係主任 小島 優子 こども政策係主事 菊池 航 市(関係部署) こども家庭課長 藤木 健一郎 子育て総合支援センター長 磯部 由起子 主幹(児童館等運営調整担当) 米山 伸哉 こども療育課長 松田 和也 保健福祉部次長(保健担当)兼母子保健課長 山谷 奈奈子 主幹(産前産後ケア担当) 渡辺 幸子 教育委員会企画総務課長 伊藤 樹美
事 務 局	こども福祉部こども政策課	
会議の公開	公開	
傍 聴 者 数	1人(千歳民報記者)	

1 開会

委員数16人中14名の出席につき、会議が定足数(委員の半数以上の出席)を満たしていることを確認。

2 議事等

(1)「第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画」の策定に係る第1期事業計画の評価及び意見集約

①「第1期千歳市子ども・子育て支援事業計画」の評価及び意見集約

【こども政策係長、関係各課長から、資料1-1及び1-2について説明】

(会長)

ありがとうございました。何かご意見はありますか。

ないようでしたら、私から申し上げます。保育士等人材バンクや、子育て支援対策の推進などについて、関係場所だけで周知するのではなく、広く市民に知っていただくという視点も必要なのではないのでしょうか。子育てを終えた世代による保育への参加など、保育関係者だけではない市全体の啓発活動を行ってみる必要があるのではないのでしょうか。

(A委員)

保育士等人材バンクに関わって、現状私の職場も人材が不足しています。そのため、広く目につきやすいところでの情報提供が必要だと考えています。例えば、人材バンクの募集対象者で、栄養士等と関連職種が記載されていますが、例えば、言語聴覚士などの違う職種も記載することができれば、こんな職種もよいのかと意識され、幅広い職種での人材確保につながるのではないのでしょうか。

(B委員)

保育に関して、もちろん人材も必要だと思いますが、多くの保護者と会話する中で、人材を育成することの必要性もあると考えています。保育士の対応によって、親子で傷ついてしまうという現状があり、その相談件数は少なくありません。発達面で弱さがある子どもは、遅れについて保育士に親が攻め立てられたという話も聞いています。子どもを預かる数を増やすだけでなく、質の確保も同時に進めていっていただきたいです。

もう一点、ウエルカムツアーについて、こちらは対象年齢が1歳以上となっています。しかし、千歳市は転入者が多く、それまで幼稚園に通っていた子どもが、転入後すぐに千歳の幼稚園に通えないという状況があり、その家庭がウエルカムツアーに参加したいと思っても、下に0歳の兄弟がいる場合だと、その子の預け先を探す必要が出てきてしまい、参加を断念する方もいます。また、バスツアーだからと様々なところを短い時間で巡るだけでなく、時には時間をかけて遊ぶという考えがあっても良いと思います。

(会長)

保育の質の確保の部分については、私も重要視しています。保護者が傷ついただけで終わってしまうのではなく、意見を集約できる場があり、その場が機能していることはまずはよかったですと思います。その保護者の声を直接聴いた人が、幼稚園や保育所の人たちと一緒に、現状や問題点を語り合えるような研修会などは行っていないのでしょうか。

(B委員)

現在はそういった研修はありません。子育てネットワークではそのような話し合いには

ならないです。

(会長)

子育てネットワークの役割ももちろんあると思いますが、そこで話し合える場を設けるのはいかがでしょうか。

(B 委員)

子育て支援センターや公立のこども園の意見については、公立の施設なので情報を共有することはできますが、私立の保育所の情報となると、共有することが難しいのが現状です。市がどこまで関わっていけるかという課題はあると思いますが、保護者の声を聞いていると、本当に胸に刺さる話を聞きます。小さい時は親に感情を伝えられない子もいますが、大きくなった時もしっかりと覚えています。それだけ幼児期に与える影響は大きいので、子どもをたくさん預かることによる問題点は、私は発信させていただきたいと思っています。

(会長)

保護者の声を共有できる場が設けられると良いかもしれません。市で保護者に安心感を与える場を設けるような施策を考えていただくことはできませんか。

(こども政策課長)

具体的な事業については現時点ではお答えできませんが、例えば、今回のような子ども・子育て会議の場で意見をあげていただければ、情報共有の場となりますので、この場も活用していただきたいです。

(C 委員)

現在、自分の子どもたちが保育園と学童を利用していますが、毎日楽しんで通っています。先日学童の発表会があった際に、いつの間にか子どもが大きく成長しているのを感じました。しかし、中にはうまくいかず先生が対応に困っているような児童もいました。学童の先生は、1年生の時に初めて児童に関わっていくこととなりますが、小学校に入る前の情報共有のためにも、それまで通っていた保育所の担当の先生が月に1回程度でも顔を出して、連携していくことができると良いのではないのでしょうか。子どもはすごく喜ぶと思います。

(D 委員)

現在の市の施策は、子育てをしている世代に情報が下りてきていないという印象があります。サービスの拡充をすることは良いと思いますが、施策を良くしていても、そこに温かみがなければ届きにくいです。例えば、みんなで子育て応援宣言という言葉について私はすごく良いと思いますが、実際にみんなで子育てを応援するということは本当に難しいことです。そのためには、どうやって関わる人たちが心を作っていくのかという課題があると思います。

多世代の交流についても、たまに幼稚園などに高校生が実習に来ることが、交流をしていると言えるのでしょうか。もちろんそれも大切ですが、もっと小さなコミュニティーの

中で多世代が交流し、皆で子育てをしているという実感を高めることができると良いと思います。例えば、町内会を活用したり、民間の任意団体の人たちと連携し、市の施策の行き届かない部分を対応したりしてもらおうといったことができると良いです。

(E 委員)

保育士の質の問題については、当園においても重要性を認識しています。保育園連合会においても、様々な研修を実施しており、マイナスな情報を共有するということはあまりないですが、いろいろな家庭や状況に合わせて対応していくという考えを持っている園が多いです。

次世代間の交流については、中学生、高校生をインターンシップで受け入れており、次世代につながるということと、職種への興味を持っていただくことを目的としており、参加者は年々増加し、毎年必ず各校から依頼が来ています。市では既に多くの事業を実施しており、いくつも素晴らしい施策がありますので、そういったものを広く伝えていく役割も私にあると認識しています。

(F 委員)

高齢者の福祉施設で働く友人で、保育士等人材バンクに登録した人がいて、周知活動が広がっているのだなと感じました。私のまわりには福祉施設で働いている人や、教員をやっている人は働いていないという人がいますが、これまで小さい子と関わるできなかった人を養成するような場があれば、お役に立てることになるのではと感じています。

また、町内会について、私も町内会の行事に参加しておりますが、町内会の方々のやり方の差はあると思います。しかし、どんなところでも必ず活動はされておりますので、その活動がさらに広がっていくと良いと思います。

(G 委員)

保育士の質の確保の話がありましたが、私自身も、職場で保護者の声を聴けていないのではないかと感じる部分があります。2、3年目の先生を支えていけるベテランの先生がいるかないかで状況も違うのではないかと思います。

先ほど学童と保育所の連携という話がありましたが、私たちは発達に心配な児童を学童に送り出すこともあり、学童ではどうなっているだろうと心配しています。学童の人たちと交流の場があればよいと思いました。

また、インクルージョン保育について、巡回支援に来てもらえますが、年に数回だけこちらの見てほしいところが伝わりにくいときがあります。気持ちが救われる部分もありますが、本当に困っている部分が解消していくところまでは繋がっていないので、今後はうまく連携が取れていければよいです。

(2) 第2期千歳市子ども・子育て支援事業計画の愛称

【こども政策係長から、資料2について説明】

(会長)

ご報告ありがとうございました。

(3) 保育定員の拡大

【こども政策課長から、資料3について説明】

(会長)

ご報告ありがとうございました。意見がなければ、承認されたということで議事を進めます。

(4) その他

【こども政策係長から、次回の子ども・子育て会議の内容、日程について説明】

(会長)

以上で本日の会議は終了いたしますが、発言のなかった委員は最後に一言お願いします。

(H 委員)

昨日、福祉センターで子ども食堂にお世話になりました。1食100円で食べられるのは非常に助かります。ただ、周囲の人に話を聞くと、行きたいけど行ったことがないという声があります。駐車場の課題などもあるかと思いますが、例えば町内会館を利用して様々な地区で実施し、気軽に子ども食堂を利用できたら面白いと思います。

(I 委員)

施策の評価をするにあたって、これだけの多くの施策があるのだなと感じましたが、知らない施策について評価することが難しかったです。子育て支援というものが小さな子どもがいる世帯に集中しているように見えますが、児童館などで中高生向けの事業もありますので、小学生や中学生も参加できるような事業が増えていくとよいと思います。

(J 委員)

今回の施策評価にあたって、各事業所の意見の中に、やっていることがよくわからないという意見が何件かありました。自分たちの関連する事業については理解されていますが、小学生や中学生を対象とするような事業については把握していませんでした。しかし、卒園後の事業について保護者からの質問などもあるので、今後も団体として意見交換し、情報を共有していきたいと思います。

(K 委員)

保育士等人材バンクについて、どこの職場も職員の確保が課題になっています。ハローワークの人たちとお話しをしていると、10年前とは真逆の状況のようで、ダブルワークが増えたことにより夜勤の募集から埋まったり、正社員じゃなければ採用されなくなかった時代から、休みが多めにもらえて短時間で働きたいという意見が増えているようです。今後は、これまでと違う発想で公募しなければいけないと感じています。

また、過去に自分の子どもが保育園に通っていたときの、情報の伝達の速さについて行かなかったことがありました。現在の若いお母さんたちの間ではそれが普通であり、情報

の入手が非常に速いです。そのため、若い世代に合わせた周知方法を検討していけばよいと考えています。

(L 委員)

様々な施策がありますが、自分の子どもが小さいときは本当に利用しなかったですし、ツイッターなどの情報発信もありませんでした。昨年の地震の際も、情報がまわらず困ったことがあったので、市から情報を発信して行ってほしいです。また、ホームページで幼稚園などの子育てに関する情報を見ようとしたときに探しにくかったので、もう少し見やすくしていただくとありがたいです。

(会長)

それでは本日は以上で終了いたします。ご参加いただきありがとうございました。

3 閉会